

第2回会議で出された意見に対する対応

資料1

第2回会議での意見	第3回会議資料	資料番号
自治体によって鉄道延伸に対する熱意に差が見られる。ミクロで見たときに人口が減っている地域もあるという状況や主体的に取り組む必要性を自治体に伝える必要があるのではないか。	関係自治体の人口推移 地域別人口増減	3.1
流山市は成功事例だと思うが、市全体の人口は増加傾向であるものの、一部地域では減っている。これが単なる人口減少なのか、それ以上に新駅周辺の開発により市内間で人口が移動しているのかを精査し、既成市街地への影響も含めて新駅の開発について各自治体が考えるべき。	地域別人口増減 関係自治体の都市計画マスタープラン、総合振興計画、立地適正化計画、地域公共交通計画	3.1 3.2
まちづくりの視点で、交通がどのような影響を与えるのかを検討すべき。	関係自治体の都市計画マスタープラン、総合振興計画、立地適正化計画、地域公共交通計画	3.2
駅にはまちの象徴性や中心であることが求められるが、地下駅の場合、それがなかなか難しい。今後はそういう点も考慮に入れていくとよい。	関係自治体の都市計画マスタープラン、総合振興計画、立地適正化計画、地域公共交通計画	3.2
新しい市街地ができたとき、既成市街地の人口減少など、ストロー効果が想定されなくもないが、居住者は市外からも集まってくる。最終的には、市全体で住環境を良くし、持続可能なまちづくりを進めることを考えるとよい。	関係自治体の都市計画マスタープラン、総合振興計画、立地適正化計画、地域公共交通計画	3.2
人口が減少していく可能性のあるところはコンパクト化が必要。メリハリをつけた都市構造にし、移転先の選択肢を与えることが大きな方向性の一つではないか。	関係自治体の人口推移 地域別人口増減 関係自治体の都市計画マスタープラン、立地適正化計画、地域公共交通計画	3.1 3.2
鉄道ができるからまちづくりを考えるのではない。目指すまちづくりがあって、そのために鉄道を延伸するという意識が必要。	関係自治体の都市計画マスタープラン、総合振興計画、立地適正化計画、地域公共交通計画	3.2
延伸路線のリダンダンシーについては、延伸路線沿線の地域の震度だけでなく、首都圏全体の震度分布と比較して評価する必要がある。	ハザードマップ	3.7